

# 地域全体で安心な街に 防犯は「声かけ」「鍵かけ」「心がけ」

市内では、総勢371名で構成される防犯連絡員、17団体の防犯ボランティア団体の皆さんの協力により定期的に防犯パトロールが実施され、平成25年の犯罪発生件数は350件と県内でも低い水準を保っています。

しかし、自動車盗難が市内で37件発生するなど防犯体制の強化は必要不可欠になっています。

今後とも警察の力だけでなく、「自分たちの地域は自分たちで守る」という意識で、安全で安心なまちづくりを目指す必要があります。



子どもたちの登下校を見守る榊穂防犯パトロール隊



〜知っていますか？  
青色防犯パトロール〜

防犯活動の中でも青色防犯パトロールが市内で活発になってきています。

一般の自動車に青色回転灯を装備することは法律で禁止されていますが、警察の証明を受けることで、パトロールに使用できる車に回転灯を付けることができます。現在市内では回転灯を搭載した車が8台登録され、子どもの登下校時のパトロール活動、犯罪発生地域での見回り活動など、幅広く地域の防犯活動に貢献しています。

■問合先／生活安全課 ☎5815111・7513111  
内線2283

## 二七電話詐欺 多発中！

被害に遭わないために

- ① 在宅中でも留守番電話を利用する。
- ② 「電話番号が変わった」と言われたら、振り込む前に元の電話番号に掛けてみましょう。
- ③ 相談する人を決めておく。自分ひとりで判断しないようにしましょう。
- ④ 「アンケートに答えてください」という電話は、個人情報聞き出すようにしてきますので、絶対に答えないでください。



寄付

真壁・大和・岩瀬  
慈善ゴルフ大会から  
市の11小学校へ寄付



贈呈式では自由信夫県議会議員(写真右)の立ち合いで、大塚市長(写真左)に寄付金を渡す飯島輝信実行委員長(写真中央)

真壁・大和・岩瀬チャリティゴルフ大会(飯島輝信実行委員長)から市内各小学校の教育振興に役立ててほしいとの想いを込めて、寄付がありました。

これは、真壁・大和・岩瀬チャリティゴルフ大会が6月24日、7月1日・8日に地区別に開催され、参加者並びに関係者約550人が募金し、それを小学校11校へ各5万円ずつ寄付していただいたものです。

飯島実行委員長は、「桜川市の将来を担う子どもたちの教育振興に役立ててほしいです」と話していました。

桜川市区長ゴルフ愛好会  
市の教育振興へ寄付

桜川市区長ゴルフ愛好会(櫻井信文会長)から、桜川市の教育振興のために、寄付がありました。

同会は市内の区長や区長OBの方々と構成され、会員の懇親を目的に毎年ゴルフ大会を開催。今年から、市の教育振興に役立てたいとチャリティゴルフ大会を開催することになり、当日は約60人が参加しました。

櫻井会長は、「児童生徒の教育に活かしていただきたいです。今後もチャリティゴルフ大会を継続していきたいと思えます」と話していました。



梅井教育長(写真左)へ寄付金を手渡す桜川市区長ゴルフ愛好会の(写真右から)皆川芳徳さん、長堀敬一さん、櫻井信文会長

## 叙勲・褒章の受章 おめでとうございます

春の叙勲・褒章および危険業務従事者叙勲が内閣府から発表され、桜川市から3人の方が受章の栄誉を受けられました。

◆旭日双光章  
堀政美さん  
元 岩瀬町議会議員  
(72歳・西小埜地区)



堀さんは、昭和53年12月に岩瀬町議会議員に当選以来、平成14年4月までの間、7期23年5か月の長きにわたり在

籍し、議会議長や各種委員会委員長を歴任するなど、地方自治の向上発展に尽力されました。現在も、茨城県石材業協同組合連合会の会長に就任し、石材業を含む地域商業の発展に尽力されています。

同氏は、「思いがけない栄えある受章に、関係者各位に感謝するとともに、大変嬉しく思っております。これからも健康管理に気を付け、自分の力を発揮し、地域が活性化する活動を続けてまいります」と受章の喜びを話していました。

◆瑞宝双光章  
石塚憲夫さん  
元 笠間市消防司令長  
(66歳・加茂部地区)



石塚さんは、昭和41年から42年間の長きにわたり笠間市消防本部職員として勤務。その間、消防庁長官から永年勤

続功労章を受章されるなど消防・防災活動に尽力されました。

同氏は、「この度、思いがけず春の叙勲の栄に浴することができました事は、これも、偏に諸先輩・同僚・地域の皆様方のご指導、ご支援と家族の支えの賜と心から感謝しております。これからは、健康に留意してお世話になった皆様や地域のために微力をつくしていききたいと思えます」と受章の喜びを話していました。

◆藍綬褒章  
皆川光吉さん  
現 桜川市消防団団長  
(62歳・高久地区)



皆川さんは、昭和53年4月に旧大和村消防団に身を投じて以来、分団長、本部長、副団長を歴任し、桜川市消防団

となつてからも団長などとして、通算36年を消防業務に精励し、郷土を災害から守るため尽力されてきました。

また、同氏は豊富な消防知識と卓越した経験を活かし、火災予防活動や消防施設の整備にも力を注ぎ、その栄誉を称える受章となりました。

同氏は、「今回の受章は誠に栄誉なこと喜びに堪えません。これも偏に、皆様方のご指導ご鞭撻の賜であり、支えてくれた妻と共に心から感謝しております」と受章の喜びを話していました。

5 さくらがわ 2014.8.1